

富山県立大学におけるメールの転送被害による個人情報等の漏えいについて

1 事案概要

去る5月16日(水)及び23日(水)、県立大学教職員あてにフィッシングメール(クラウドサービスなどの名前を騙って本物そっくりのメールでID、パスワードを盗むもの)が届き、教職員5名がID、パスワードを入力した。

その後、5月16日(水)～5月28日(月)にかけて、このうちの3名の教職員のメールが不正に外部に転送され、学生の個人情報等が漏えいしていることが5月28日(月)に確認された。

現在は、当該教職員5名のパスワードを変更し新たな漏えいはないが、漏えいした情報には学外関係者に係る情報も含まれていることが判明している。

2 これまでの経過及び漏えいが確認された情報等

(1) 経過・対応

5/16(水)		・1名が、前日届いたフィッシングメールにID、パスワードを入力。
5/23(水)	2:22	・多数の教職員にフィッシングメールが届く。 ・9時までに4名がID、パスワードを入力。
	9:27	・事務局から全ての教職員及び学生に対し警告メールを送信。 フィッシングサイトにID、パスワードを入力しないよう注意喚起
	～11:00	・上記5名がパスワードを変更
5/28(月)	9時頃～	・身に覚えのない不審なメール(「転送に失敗した」)の事象を1名が認知、メールのログを確認するなどの調査を開始。
	9時45分～16時	・5/16入力の1名、5/23入力の2名の計3名が被害(メールアカウントに不正に自動転送の設定)にあっていることを突きとめる。 ・3名のメールアカウントに不正に設定された自動転送設定を無効にするとともに、状況保全のためアカウントを凍結。
5/29(火)		・漏えいした情報の確認作業
5/30(水)	10時30分	・不正なメール転送を防止するため、全教職員のメールを自動で外部に転送できないようにシステムの設定を変更。

(2) 漏えいが確認された情報

- ・5月16日(水)～28日(月) 当該教職員3名が受信したメール275通

(3) 漏えいした可能性がある情報

- ・当該教職員の送受信フォルダに保存されていたメールがID、パスワードを盗んだ者に見られた可能性あり

3 今後の対応等

(1) 漏えいされた情報の関係者等への対応

- ・個人情報等が漏えいしたことについて経緯を説明し謝罪。併せて不審なメール等に対して注意していただくよう依頼。(なお、5月30日現在、関係者等から被害や悪用されたとの情報はない。)

(2) 再発防止

- ・学長名であらためて注意を喚起する文書を発出するとともに、セキュリティ対策研修を強化し、情報管理セキュリティ対策の徹底を図る。

○ 問合せ先 富山県立大学事務局教務課 村山、垣内 0766-56-7500 内線 222、229